



報道で紹介された美瑛高校 19

◆令和6年1月20日(R6. 1. 27 びえい新聞)

特別発表として、2年の高石さんと3年の十河さんが発表を行いました。高校生らしい、みずみずしい感性で素晴らしい発表を行いました。

美瑛町「少年の主張」発表大会審査結果

【最優秀種】
桑原桃瑚(美馬牛中3年)「気づかないこと」

【優秀賞】
江花沙季奈(美瑛中1年)「語り継ぐ戦争」
成澤 駿(美瑛中3年)「AI技術との共存について」
江花里衣奈(美瑛中3年)「命の大切さ」

【優良賞】
植村心奏(美瑛中1年)「舞でつながる地域」
内藤仁月(美馬牛中1年)「柔道で学べたこと」
野々瀬結睦(美瑛中2年)「傷つくこと」
市川葉琉(美馬牛中2年)「鉄路の未来」
菊地美咲(美瑛中2年)「インターネットを幸せで溢れる場所に」

【特別発表】
高石璃乙(美瑛高2年)「SNSと共存する現代」
十河 楓(美瑛高3年)「恋すること」

町内の少年少女たちが等身大の思いを発表。町青少年健全育成協議会が主催する「少年の主張」発表大会が、1月20日に町民センター3階大会議室で開かれた。発表では、美瑛中学校6人、美馬牛中学校3人の計9人

町内の少年少女たちが等身大の思いを発表。町青少年健全育成協議会が主催する「少年の主張」発表大会が、1月20日に町民センター3階大会議室で開かれた。発表では、美瑛中学校6人、美馬牛中学校3人の計9人

江花沙季奈さんを上川地区大会に推薦

様々なテーマのもと等身大の思いを発表
美瑛町「少年の主張」発表大会
令和5年度 美瑛町「少年の主張」発表大会



令和5年度 美瑛町「少年の主張」発表大会



美瑛町青少年健全育成協議会の温泉敏会長(美沢小学校長)が「今を生きる皆さんが何を考えるか」をテーマに、経験を踏まえて本質を語り、納得することを見つけて言葉にしていく本質観を友達と一緒に考えてもらいたい」とあいさつ。1年生から順に生徒たちがそれぞれ壇上で発表を行った。

出場した生徒たちは、学校生活や自身の体験、社会情勢をはじめとする様々なテーマのもとに、制限時間5分の中で思いを込めて発表。町校長会、美瑛高校、少年補導会、公民館、青少年健全育成協議会の各代表者5人が審査員を務めた。中学生の発表後、美瑛高校の2人が特別発表。審査の対象ではないものの、高校生らしい堂々とした発表を見せた。

審査の結果、最優秀賞は「気づかないこと」をテーマとした美馬牛中学校3年の桑原桃瑚さんが受賞。優秀賞の3人の中から、上川代表には「語り継ぐ戦争」をテーマとした美瑛中学校1年の江花沙季奈さんが選出された。審査委員長を務めた美瑛小学校の堀内隆功校長は「どれも甲乙つけがたい発表で、

未来思考で考えられていたことが素晴らしかった。広い視野や柔軟な思考のもとに、自分の主張を分かりやすく

伝えることは、成長のための重要な資質となると講評。表彰式では、温泉会長から美瑛高校の2人に記念品が

贈呈。各中学校の代表として発表した9人の生徒たちには、それぞれ賞状と記念品が贈られた。